

横浜市立大学鶴見キャンパス
リモートユニット（SCS2-1L）更新業務委託 仕様書

1 業務内容

横浜市立大学鶴見キャンパスに設置されている中央監視システムに付随するリモートユニット（SCS2-1L）の更新を行う。

2 履行場所

横浜市鶴見区末広町1-7-29 横浜市立大学鶴見キャンパス

3 履行期間

契約締結時から令和5年3月31日

4 更新内容

リモートユニットの更新（SCS2-1Lのみ）

- ※ 詳細は、別紙1（更新機器表）及び設計図面を参照
- ※ 更新に係る周辺消耗品・器具部品等の交換・更新を含む。
- ※ 更新に係る既存リモートユニット撤去、及び産業廃棄物処分費用等を含む。
- ※ 通信幹線は、既存再利用とする。
- ※ 設計書に含まれない自動制御機器（センサ、電動2方弁、ダンパ°操作器等）は既存再利用とする。

5 更新に求められる条件

今回の設備更新は、中央監視装置（アズビル製）を既設再利用とした一部のリモートユニットの更新であり、既設通信幹線を利用の上、通信変換器を用いず直接接続し、既設同様に監視・操作が行えるようにする。（既設中央監視装置とリモートユニットは、同一メーカーとする）

なお、中央監視システムは、本学の機械設備等維持管理業務において、非常に重要な設備であるため、今回の設備更新において、既設中央監視装置と更新後のリモートユニットとの通信不良等の不具合が起きた場合には、既設メーカーと連携をとり、速やかに対処できる体制を構築すること。

上述のとおり、既設中央監視システムのメーカーである「アズビル株式会社」の製品を取り扱えることが必要となるため、「アズビル株式会社の販売代理店証明書」（様式自由・要代表者印）、及び過去3年以内に同規模建物で、アズビル製のリモートユニット更新の実績があることの「実績証明書」（様式自由・要代表者印）の提出を必須とする。

6 更新後の保証対応

更新後、1年間を保証対象期間とし、機器トラブル時の対応は請負事業者が行うものとする。

7 支払条件

業務委託終了後、検収・検査の後、一括後払とする。

8 その他

- (1) 更新の際の消耗品・器具類については受託者が用意すること。
- (2) 日程については、市立大学担当者と十分な打合せを行い、関係者との調整を図ること。
- (3) 本業務を実施するに当たり、関係者と調整をし、業務計画書を事前に作成し、市立大学担当者の承認を得ること。
- (4) 本業務の終了時には、業務完了報告書を作成し、1か月以内に市立大学担当者に1部提出すること。
- (5) この仕様書に定めのない事項、及び疑義が生じた場合は、市立大学担当者と協議の上、解決すること。

「更新機器表」(リモートユニット【SCS2-1L(キャンパス)】)

設置場所	自動制御盤	名称	参考型式	数量	内容	備考1	備考2
キャンパス 1階 機械室	RCP-1W-2	通信端末伝送装置(Inflex GD)	WY5110W	1組	DI:24点 DO:8点 Pt:4点	SCS2-1L-1C	自動制御機器は既設再利用
		通信端末伝送装置(Inflex GD)	WY5110W	1組	DI:24点	SCS2-1L-2C	自動制御機器は既設再利用
		通信端末伝送装置(Inflex GD)	WY5110W	1組	DI:16点 DO:16点 AI:4点 AO:2点	SCS2-1L-3C	自動制御機器は既設再利用
		ポンプ台数制御装置(PMX4)	WY5130P	1組	DI:16点 DO:8点 Pt:2点 AI:4点 AO:2点	SCS2-1L-8C	自動制御機器は既設再利用
		ポンプ台数制御装置(PMX4)	WY5130P	1組	DI:16点 DO:16点 Pt:2点 AI:4点 AO:4点	SCS2-1L-9C	自動制御機器は既設再利用
		ポンプ台数制御装置(PMX4)	WY5130P	1組	DI:16点 DO:8点 Pt:2点 AI:4点 AO:2点	SCS2-1L-10C	自動制御機器は既設再利用
キャンパス 1階 熱源機械室	RCP-1W-1	熱源台数制御装置(PMX4)	WY5130Q	1組	DI:16点 DO:8点 Pt:12点 AI:4点 AO:2点	SCS2-1L-4C	自動制御機器は既設再利用
		熱源台数制御装置(PMX4)	WY5130Q	1組	DI:16点 DO:8点 Pt:12点 AI:4点 AO:2点	SCS2-1L-5C	自動制御機器は既設再利用
		通信端末伝送装置(Inflex GD)	WY5110W	1組	DI:32点 DO:8点 Pt:4点	SCS2-1L-6C	自動制御機器は既設再利用
		通信端末伝送装置(Inflex GD)	WY5110W	1組	DI:40点 DO:8点 AI:4点	SCS2-1L-7C	自動制御機器は既設再利用
キャンパス 1階 機械室C1	RCP-1N-1	通信端末伝送装置(Inflex GD)	WY5110W	1組	DI:40点 DO:8点	SCS2-1L-11C	自動制御機器は既設再利用
		デジタル式コントローラ(Inflex GC)	WY5111W	1組	DI:24点 DO:16点 Pt:4点 AI:4点 AO:2点 MM:1点	SCS2-1L-12C	自動制御機器は既設再利用
		デジタル式コントローラ(Inflex GC)	WY5111W	1組	DI:16点 DO:16点 Pt:4点 AI:4点 AO:2点 MM:1点	SCS2-1L-13C	自動制御機器は既設再利用
		デジタル式コントローラ(Inflex GC)	WY5111W	1組	DI:24点 DO:24点 Pt:4点 AI:4点 AO:2点	SCS2-1L-14C	自動制御機器は既設再利用
		デジタル式コントローラ(Inflex GC)	WY5111W	1組	DI:16点 DO:16点 Pt:4点 AI:4点 AO:2点 MM:1点	SCS2-1L-15C	自動制御機器は既設再利用
		デジタル式コントローラ(Inflex GC)	WY5111W	1組	DI:16点 DO:16点 Pt:4点 AI:4点 AO:2点 MM:1点	SCS2-1L-16C	自動制御機器は既設再利用
		デジタル式コントローラ(Inflex GC)	WY5111W	1組	DI:24点 DO:24点 Pt:4点 AI:4点 AO:2点	SCS2-1L-17C	自動制御機器は既設再利用

(注記)

DI:無電圧接点入力

DO:無電圧接点出力

Pt:Pt100Ω入力

AI:DC4-20mA入力、DC2-10V入力、DC0-10V入力、DC1-5V入力、DC0-5V入力

MM:モジュトロールモータ出力

※表の入出力点数はモジュールが接続可能な最大の点数であり、配線・機器が接続されている点数ではない。
更新機器の接続可能点数は既存機器よりも同数以上とすること。